

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度版

(運用期間:2023年11月～2024年10月)



発行日:2024年12月9日

株式会社釜堀組

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	1
3. 環境経営方針	2
4. 環境経営目標	3
5. 環境経営計画	4
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	5
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組結果と その評価の実績、並びに次年度の取組	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	10

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 株式会社釜堀組
代表者氏名 代表取締役 中村 幸宏
- (2) 所在地 本 社 〒812-0894 福岡市博多区諸岡5丁目28-22
駐車場 〒812-0894 福岡市博多区諸岡5丁目28-22
- (3) 環境管理責任者 代表取締役 中村 幸宏
連絡担当者 中村 美穂
連絡先 TEL 092-591-0077 FAX 092-585-8880
Eメールアドレス kamahorigumi@coda.ocn.ne.jp
- (4) 事業の内容 建築工事業、左官工事業
福岡県知事許可(特-5) 第054669号
令和5年6月25日～令和10年6月24日
産業廃棄物収集運搬業 04000204382号
令和5年12月11日～令和10年12月10日
(産業廃棄物収集運搬業は自社工事分のみの活動で本業ではない。)
- (5) 事業の規模 総売上額: 405百万円(2023年度)
- | 区分 | 単位 | 本社 | 駐車場 | 倉庫 |
|------|----------------|-----|-----|-----|
| 従業員数 | 人 | 17 | 0 | 0 |
| 延床面積 | m ² | 110 | 175 | 170 |
- (6) 事業年度 11月～翌年10月

2. 認証・登録の対象範囲

- (1) 対象事業所 本社・駐車場、倉庫
- (2) 対象活動 建築工事業、左官工事業
※上記の全組織及び全活動を対象とする。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

私たち、株式会社釜堀組は『安全・誠実』を経営理念として掲げ、地域に密着した事業活動を行い、社会貢献に努める企業です。建設工事を行うに当たっては、環境保全を経営の大きな柱として位置づけ環境経営の継続的改善に努めます。

＜環境行動指針＞

当社の事業活動においては、環境経営理念に基づき深刻化する環境問題への対応を最重要課題とし、以下の事項について自主的、積極的、継続的に取り組みます。尚、構築した環境経営システムを適正に運用し、SDGS(持続可能な開発目標)についても地球的視点に立って取り組んで参ります。

1. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は次の項目を重点項目として、社員教育を実施し、環境活動を計画的に取り組みます。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 建設廃棄物排出量の抑制とリサイクルを推進します。
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 化学物質の適正管理に努めます。
 - (5) 事務用品等のグリーン購入を推進します。
 - (6) 環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加を目指します。
3. 当社の毎年の環境への取組状況を環境経営レポートにとりまとめ、全社員に周知させ一般にも公表します。



制定日 2018年8月31日

改定日 2022年2月28日

株式会社 釜堀組

代表取締役 中村 幸宏

4. 環境経営目標

- ・環境経営目標は、産業廃棄物のリサイクル率は2021年と同様、それ以外は2022年を基準年とし目標を再設定した。
- ・主要な環境負荷である二酸化炭素排出量と水使用量については、基準年から毎年 1%ずつ削減し、2026年度までに4%削減を目指します。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2022年度 実績値	目標			
				2023年度 (1%削減)	2024年度 (2%削減)	2025年度 (3%削減)	2026年度 (4%削減)
			2022.11～ 2023.10	2023.11～ 2024.10	2024.11～ 2025.10	2025.11～ 2026.10	2026.11～ 2027.10
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	27,713	27,436	27,159	26,882	26,604
①電気使用量削減	事務所	kWh	6,818	6,750	6,682	6,613	6,545
②ガソリン使用量削減	現場	ℓ	9,624	9,528	9,432	9,335	9,239
③軽油使用量削減	現場	ℓ	1,143	1,132	1,120	1,109	1,097
2. 廃棄物排出量の削減							
①一般廃棄物排出量 (可燃ごみ)の削減	事務所	kg	23	23	23	22	22
②産業廃棄物のリサイ クル率の向上	現場	% (リサイクル率)	5	75	76	77	78
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	31	31	30	30	30
4. 化学物質使用量の把握と 適正管理	現場		化学物質使用量の把握と適正管理に努める				
4. グリーン購入の推進	事務所	品数	26	26	26	26	26
5. 当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加							
①環境負荷の小さい原 材料の調達	現場	現場数	2	2	2	2	2
②環境に対する創意工 夫への取組		実施件数	2	2	2	2	2
③環境に対するセミ ナーへの参加		回	3	3	3	3	3

備考)・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.389kg-CO₂/kWh(九州電力(株)2023年度調整後排出係数)を使用した。

・サイト区分の全社とは、事務所+現場を示す。

5. 環境経営計画

- ・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
①電気使用量の削減	全社	中村 ＋ 現場代理人	1. 事務所の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する	中村 現場代理人	冷房期：6～9月 暖房期：11～3月
			2. 不要な照明の消灯	中村 現場代理人	通年
			3. 使用していないパソコンの電源を切る	中村 現場代理人	通年
②ガソリン使用量の削減	現場	中村	1. 急発進、急加速、急減速の禁止	中村	通年
			2. 不要な荷物は積まない	中村	通年
			3. 乗り合わせて現場へ行く	牟田	通年
			4. 空気圧の適正確認（1回/月）	牟田	通年
③軽油使用量の削減	現場	中村	1. 急発進、急加速、急減速の禁止	中村	通年
			2. 不要な荷物は積まない	中村	通年
			3. 空気圧の適正確認（1回/月）	牟田	通年
			4. 移動ルート最適化	牟田	通年
			5. 調達ルートの変更	中村	通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
①一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減	事務所	中村	1. 分別によるリサイクルの推進	中村	通年
			2. コピー用紙の裏紙利用	中村	通年
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	中村	1. 分別によるリサイクルの推進	岩崎	通年
			2. 現場代理人はマニフェストの管理を確実に行う	現場代理人	通年

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
①水使用量の削減	事務所	中村	1. 節水ラベルによる取組推進	中村	通年
			2. 水を出しっぱなしにしない	中村	通年

4. 化学物質の適正管理

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
①化学物質の適正管理	現場	中村	1. SDSシートの確認を行う	現場代理人	通年

5. グリーン購入の推進

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
①グリーン購入の推進	事務所	中村	1. グリーン事務用品の調査購入	中村	通年

6. 当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加

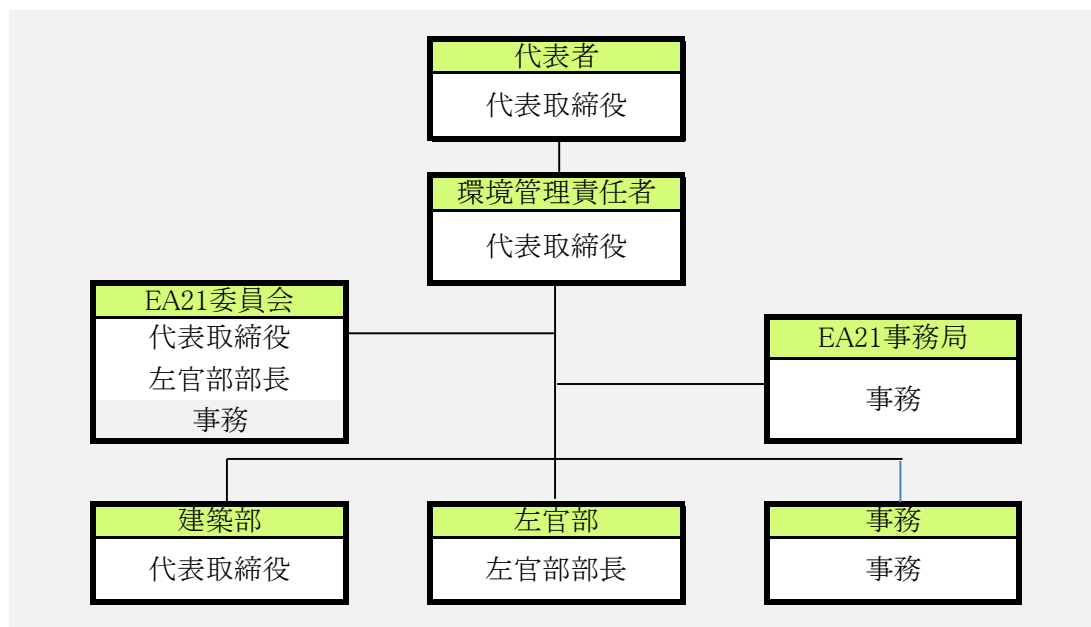
取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
①環境負荷の小さい原材料の調達	現場	中村	1. 建設資材は可能な限り再生品を使用する	中村	通年
②環境に対する創意工夫への取組	現場	中村	2. 公共工事では環境に対する創意工夫に積極的に取り組む	中村	通年
③環境に対するセミナーへの参加	現場	中村	3. セミナーに積極的に参加する	中村	通年

備考）サイト区分（事務所、現場、全社=事務所＋現場）

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- ・2022年度に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・なお、実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって実施しました。

(1) エコアクション21実施体制



(2) 2022年度に実施した環境への取組

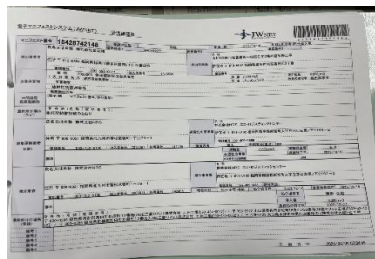


環境負荷を削減する取組



裏紙の利用

ごみ減量



manifestoの適正管理

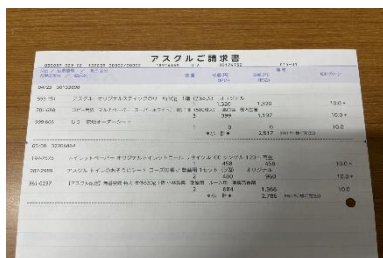


SDSシートの適正管理



事務所ゴミの分別

環境を良くする取組



グリーン購入

環境共生



現場事務所にAED設置



現場での産業廃棄物の分別

現場環境



事務所エコアクション会議

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組 結果とその評価の実績、並びに次年度の取組

(1) 環境経営目標の実績

・今回の2023年度運用期間の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標5項目12目標のうち、電気使用量の削減、ガソリン使用量の削減、一般廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、環境負荷の小さい原材料の調達、環境に対するセミナーに参加は目標を達成できました。

・軽油使用量については遠方の現場増えたことが増加要因と考えます。

・産業廃棄物のリサイクル率の向上においては、建設混合廃棄物が増えたことこの原因としては外壁改修工事にあたりコンクリート殻や養生材に塗料が付着しているため建設混合廃棄物でしか処理が出来なくなったためだと思われます。

・2024年度は軽油使用量の削減については2023年度の目標を再設定し、他目標については2022年度の実績値を元に目標や取組の見直しを行っていきます。

環境経営目標	サイト 区分	単位	2023年度 (2023年11月～2024年10月)		目標 達成率 ※1	目標 達成評価 ※2
			目標	実績		
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	27,437	27,913	98%	△
①電気使用量の削減	事務所	kWh	6,750	6,657	101%	○
②ガソリン使用量の削減	現場	ℓ	9,528	8,995	106%	○
③軽油使用量の削減	現場	ℓ	1,132	1,798	63%	×
2. 廃棄物排出量の削減						
①一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減	事務所	kg	22	22	100%	○
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	% (リサイクル率)	75	38	51%	×
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	31	29	107%	○
4. 化学物質の適正管理	現場		SDSシートの確認を行う			
5. グリーン購入の推進	全社	品数	26	27	104%	○
6. 環境負荷低減技術を活かした工事 の受注増加						
①環境負荷の小さい原材料の調達	現場	現場数	3	3	100%	○
②公共工事において環境に対する 創意工夫に積極的に取り組む	現場	実施件数	2	1	50%	×
③環境に対するセミナーに積極的に 参加する	現場	回	2	4	200%	◎

備考)※1 目標達成率の計算 目標÷実績×100(削減目標の場合)、実績÷目標×100(増加目標の場合)

※2 評価区分◎:目標達成率≥120% ○:100%≤達成率<120% △:80%≤達成率<100% ×:達成率<80%
—:判定不可

(2) 環境経営計画の実施・取組結果とその評価

・2023年度運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、軽油使用料の削減・廃棄物排出量の削減については目標未達でした。取組結果としては、産業廃棄物のリサイクル率の向上の分別によるリサイクルの推進が出来ておらず、これは外壁改修工事における産業廃棄物（コンクリート殻、養生材）に塗料が付着しているため分別出来ないことが原因だと思われます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①電気使用量の削減	全社	△	1. 本社事務所の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する	○	<現状> ・取組結果はよく実施されている。 ・軽油使用量の削減については目標未達でしたが、取組結果としては実施されていました。 <今後> ・現在の取組を確実に実施する。
			2. 不要な照明の消灯	○	
			3. 使用していないパソコンの電源を切る	○	
②ガソリン使用量の削減	現場	○	1. 急発進、急減速、急加速、の禁止	○	
			2. 不要な荷物は積まない	○	
			3. 乗り合わせて現場に行く	○	
			4. 空気圧の適正確認（1回/月）	○	
③軽油使用量の削減	現場	×	1. 急発進、急減速、急加速の禁止	○	
			2. 不要な荷物は積まない	○	
			3. 空気圧の適正確認（1回/月）	○	
			4. 移動ルート of の最適化	○	
			5. 調達ルートの変更	○	

備考) 達成状況区分 ○：目標達成率 $\geq$ 120% ○：100% $\leq$ 達成率 $<$ 120% △：80% $\leq$ 達成率 $<$ 100% ×：達成率 $<$ 80%
 -：判定不可

実施状況区分 ○：実施されている △：ほぼ実施されている ×：実施されていない -：判定不可

2. 廃棄物排出量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①一般廃棄物排出量（可燃ごみ）の削減	事務所	○	1. 分別によるリサイクルの推進	○	<現状> ・建設混合廃棄物の排出量が増え、分別によるリサイクルの推進が出来ていない。 <今後> ・現在の取組を確実に実施する。
			2. コピー用紙裏紙の利用	○	
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	×	1. 分別によるリサイクルの推進	×	
			2. 現場代理人はマニフェストの管理を確実に行う	○	

3. 水使用量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①水使用量の削減	事務所	○	1. 節水ラベルの取組推進	○	<現状> ・よく実施されている。 <今後> ・現在の取組継続。
			2. 水を出しっぱなしにしない	○	

4. 化学物質の適正管理

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①化学物質の適正管理	現場	○	1. SDSシートの確認を行う	○	<現状> ・実施されている。 <今後> ・現在の取組継続。

5. グリーン購入の推進

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①グリーン購入の推進	事務所	○	1. グリーン事務用品の調査購入	○	<現状> ・よく実施されている。 <今後> ・現在の取組継続。

6. 環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①環境負荷の小さい原材料調達	現場	○	1. 建設資材は可能な限り再生品を使用する。	○	<現状> ・購入する機会が少なかった。 <今後> ・機会があれば購入する
②環境に対する創意工夫への取組	現場	×	2. 公共工事では環境に対する創意工夫に積極的に取り組む	○	<現状> ・よく実施されている。 <今後> ・現在の取組継続
③環境に対するセミナーへ参加	現場	◎	3. 環境セミナーなどに積極的に参加する	○	<現状> ・よく実施されている。 <今後> ・現在の取組継続

(3) 今後の取組

1) 環境経営目標について

・次年度の環境経営目標は軽油使用量の削減のみ2022年度の実績を元に設定します。

但し、廃棄物排出量の削減に関しては2023年度の建設混合廃棄物の増加により実績値が下がってしまったので2022年度の目標を維持する形で再設定し取り組んでいきたい。

2) 環境経営計画について

次年度もこのまま継続していきたいと思います。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動、製品及びサービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2023年度運用期間中の事業活動に対して、2024年12月に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	○
建設リサイクル法	一定規模以上は建築4品目の分別解体と再資源化	○
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	—
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	—
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易定期点検の実施	○
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出 作業基準の遵守義務	○

備考) 評価区分 ○:遵守 ×:不遵守 —:該当なし

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・今回の2023年度運用期間終了後に、代表者による取組状況の全体評価と、計画の見直しの必要性を検討しました。結果は、以下のとおりです。

(1)取組状況の全体評価

- ・環境への取組状況については、電気使用量の削減、ガソリン使用量の削減、一般廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、環境負荷の小さい原材料の調達、環境に対するセミナーに参加は満足な結果を得ており、環境経営目標も達成しています。
- ・軽油使用量の削減については遠方の現場が増えた為増加したが、2024年度で目標を再設定し、再度取り組んでいきたい。
- ・産業廃棄物のリサイクル率の向上については2022年度が産業廃棄物は減ったが、ほとんどが混合廃棄物で外壁改修工事で排出されるコンクリート殻、養生材に塗料が付着しているため分別出来ないことが原因と考えられる。なので、リサイクル率の向上に関しては2022.2023年の結果は大幅に減りましたが、2024年の目標値は現状維持でいきます。
- ・環境に対する創意工夫への取組は公共工事を受注出来なかった為機会がなかった。今後機会があれば取り組んでいきたい。

(2)見直しの結果

- ・2023年度の運用実績を踏まえて、環境経営目標は見直し再設定します。
今回達成できた項目については引き続き継続して取り組んでいきます。

